



## 体育祭延期……

先週の木曜日(夜)、思いもよらぬ内容のメール「新型コロナウイルス関連で浅江中学校を臨時休業とします」を配信してから、計画変更、対応の具体化等、めまぐるしい時間を過ごしましたが、そのような中、教職員で今一度、以下の点を再確認して、未来に向けた一歩を踏み出すことを共有しました。

○感染したことが悪いことではない。いつ、だれが感染するかがわかenらないのが新型コロナ。感染者、接触者等がいわれのない誹謗、中傷を受けることが絶対にないように、学校全体で対応しよう!

○体育祭延期となったことで、子どもたちが希望を失ったり、モチベーションが下がったりしないような最大限の支援をし、創意工夫を凝らし、「今できること」を子どもたちとともに考えよう!

○こういう事態だからこそ、我々が笑顔で頑張ろう!

今回の対応では、保護者の皆さまにはご心配やご負担をおかけしています。保健所と連携をして対応していますが、情報提供が遅くなったり、全ての情報をお伝えできなかつたりする場合がありますなど、コロナ対応の難しさを痛感しています。今後も、これまで通り、「コロナを正しく恐れ」、「できる教育活動を、できる形で可能な限り実現する!」を基本に今後も取り組んでいきますので、引き続き、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 子どもたちの前向きな言動に救われます……

9月6日(月)午前、3年生が登校してきました。子どもたちを玄関で出迎えると、予想以上に元気な声の挨拶でした。表情も明るく、それを見ただけ、とてもホッとしました。さらに、早く登校した子どもたちが玄関や正門あたりの掃除をはじめました。急な休業となり、金曜日以降、ほったらかしになり、少し汚れた玄関と落ち葉がたまった正門周辺を自主的に掃除しました。また、グラウンドに設置されていた使用することのなかったテントも、皆で手際よく片付けました(右上写真)。3年生に感謝です。



午後、2年生も登校してきました。いつもとは違う「こんにちは～」の挨拶で、校内に入りましたが、3年生同様、笑顔で元気な挨拶に勇気づけられました。また体育館で行われた学年集会では、学年主任の青木英史先生の思いのこもった話を自分ごととして真剣な眼差しで聞いていました(右下写真)。その後、3年生が行った作業を引継ぎ、テント等の撤収作業を黙々と行いました。2年生にも感謝です。



## 体育祭への思いを子どもたちに届けたい!



体育祭開催予定だった5日(日)午前8時15分、村田先生(体育祭担当)が、静まり返ったグラウンドの掲揚台に三色の団旗を掲揚しました(左写真)。本来であれば開会宣言がされるはずの時間です。夏休みから実行委員、応援団を中心に一所懸命に頑張ってきた子どもたちに思いを伝えたい……そんな思いからの行動です。その後、有志の先生が、校舎3階に体育祭スローガンを掲げたり、玄関に各団のパネルを立てかけたりしました。体育祭への思いは、教職員も子どもたちと同じです。今後、延期された体育祭がどうなっていくのか不透明なことばかりですが、希望をもって、子どもたちとともに考えていければと思います。